

オリンピックに向けて 施設や合宿所の整備を 総合的な判断のもとで 検討していく



工藤 正廣
(明政一心会)

議員 東京オリンピック開催に当たり、サッカー場や馬術競技場の整備と合宿所を設置する考えは。
市長 サッカー場はこれまで高森山球技場や若葉球技場の整備をし、日本サッカー協会が認定する県フットボールセンターとして市内外の多くの方々に利用されています。また、合宿所の設



スポーツによる活性化を

置は、当市のスポーツ振興や地域経済の活性化を図る有効な手段の一つと考えますが、新たな施設を設置するためには多額の費用が必要となりますので、市全体の施設整備計画の中に位置づけ、また今後の財政状況等を勘案した中で総合的な判断のもとで検討しなければと考えています。また、馬術競技場の整備と合宿所の設置についても、現在ある施設の利用の動向など、さまざまな条件を踏まえた中で検討していくことが肝要と考えています。

議員 民間企業から講師を招いたり職員を派遣するなど、国際化に対応できる職員を養成する考えは。
総務部長 国際化の進行により語学力向上の必要性が増しており、研修機会の提供に努めたいと考えています。また、市では外部講師による接遇研修を毎年実施したり、民間企業が講師を務める各種研修会に職員を派遣するなど、研修機会の提供に努めています。

議員 子供向けの十和田検定を実施する考えは。
教育長 商工会議所で実施している十和田検定は、生まれ育った故郷の歴史や文化を知る有効な手段と考えています。しかし、現在の公式テキストブックは小学生には難しい内容となつていきますので、子供向けのテキストブックの作成も含めて商工会議所へ検討を働きかけていきたいと考えています。

議員 地域バイオマス利活用交付金事業の概要と交付実績は。
市長 この事業は地域で発生、排出されるバイオマス資源をその地域でエネルギーなどに転換し、可能な限り循環利用を行い、総合的利活用システムを構築するため、地域の創意工夫を凝らした主体的な取り組みを支援する事業です。当市では平成二十年度に一事業者が養豚のふん尿を固形化して地域の農業への利活用を図る目的でバイオマス変換施設を導入しました。



今泉 勝博
(市政・社民クラブ)

もっと吟味した

公害防止協定の締結を

必要であればそうあるべき

要件ではありませんでした。なお、河川放流に対する関係機関への説明はされています。

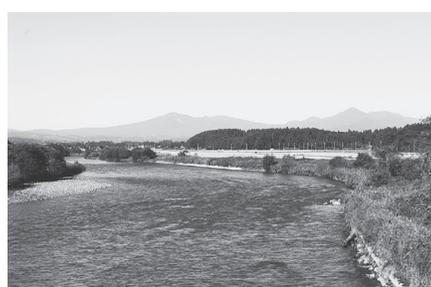
ポストの採用、木材チップの活用などによって、においが少ないと伺っています。

議員 仙ノ沢開拓地域に建設予定の養豚場について、計画変更が報道されているが、その後の経過は。
農林部長 事業者が昨年八月二十七日に事業計画変更について地域住民に対する説明会を開催しましたが、その後、計画変更に係る詳細設計の作成に時間を要しているため、いまだ公表できる状況はないと伺っています。市に対しても詳細な説明は、いまだありません。

議員 市はもっと吟味した公害防止協定を結び考えはないか。
民生部長 この件にかかわらず、当市では法の遵守、公害防止をさらに一歩踏み込んだ形で事業者に向けてきました。その中で協定の締結が必要であれば市として必然的なことと考えています。

議員 地区住民と排水先の住民の同意が必要でなかったのか。
農林部長 処理水の排水については既設の配管を利用したため、排水先の住民に対する説明は行われていませんし、地区住民への説明も事業の採択

議員 悪臭に対する対応や考え方について。
民生部長 事業者によるこれまでの説明によれば、においの漏れにくい構造の豚舎、脱臭機つきコン



豊かな自然を未来へ